

## ガバナー月信



写真提供：田中 雅史(新潟南 RC)

## 月信 3月号

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ① ガバナーメッセージ          | ⑨ クラブ近況報告(越後魚沼 RC) |
| ② 米山記念奨学生委員長セミナーのご報告 | ⑩ クラブ近況報告(小千谷 RC)  |
| ③ クラブ近況報告(新発田中央 RC)  | ⑪ クラブ近況報告(高田東 RC)  |
| ④ クラブ近況報告(新潟東 RC)    | ⑫ 会員数及び出席報告        |
| ⑤ クラブ近況報告(新津 RC)     | ⑬ 地区主要行事予定(3月・4月)  |
| ⑥ クラブ近況報告(三条北 RC)    | ⑭ 新入会員紹介           |
| ⑦ クラブ近況報告(吉田 RC)     | ⑮ コーディネーターニュース     |
| ⑧ クラブ近況報告(柏崎中央 RC)   | ⑯ ハイライトよねやま        |

国際ロータリー第 2560 地区  
2021-22 年度**高尾ガバナー事務所**新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F  
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



## 2月開催のセミナーと3月の 「水と衛生」月間によせて

国際ロータリー第 2560 地区  
2021-22 年度 ガバナー

**高尾 茂典** (新潟中央 RC)

雪が舞う厳しい白い世界が続くなか、ようやく「弥生」の季節を迎え、寒さに耐えた木々や草花たちが踊るように芽吹き、目に映る世界が徐々に色づく春がすぐ近くまで来ている様に感じられる季節となりました。

2月に開催された米山記念奨学委員長セミナーでは、よねやま親善大使カレンさんより米山記念奨学会についての感動と感謝の思いが伝わる素晴らしい講演をして頂きました。また、財団・補助金管理セミナーでは、皆様よりの浄財を効果的に活用するための提案がなされました。「世界でよいことをしよう」のテーマを実践するために、我々の権利である、地区補助金やグローバル補助金の利用率を更に引き上げること等、財団は「成長」から更に「発展」していかなければなりません。

また、ポリオプラスプログラムは、積極的に参加・推進しなくてはなりません。発症数は中東 2 개국でほんの一桁となり、根絶へ向け順調に進んできたプロジェクトではありますが、最近アフリカにて発症例が確認されております。今まで以上に皆様のご理解とご協力を頂いて、根絶に向け邁進して参りましょう。

今月は、「水と衛生」月間です。日本ではどこでも蛇口をひねると清潔な飲み水が手に入るにもかかわらず、世界の地域の中では、水道や井戸すら無く飲料水に困っている地域や、トイレさえ無い為大変な苦勞をしている地域も沢山あります。蛇口をひねるだけで水が出て、トイレに水が流れる生活というのは、実はとても莫大な設備投資と予算を必要とします。ロータリーは井戸を掘り、安全な水の供給と衛生設備の充実のためのプロジェクトを進めております。衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子供達の通学率も高めています。

引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、まだまだ寒さが残っておりますので、感染対策の徹底と風邪などひきませんようご自愛ください。



## 米山記念奨学生委員長セミナー報告

国際ロータリー第 2560 地区  
2021-22 年度 米山記念奨学委員会  
寄付増進委員

**熊倉 正志** (新潟万代 RC)

2月5日(土) ホテルオークラ新潟で行われました国際ロータリー第 2560 地区 2021-22 年度米山記念奨学生委員長セミナーについてご報告いたします。

当日は、2021-22 年度第 2560 地区の 50 クラブの米山記念奨学委員長、地区の米山記念奨学委員を合わせて 66 名(会場参加 25 名、zoom 参加 41 名)にご参加いただきました。冒頭で、高尾茂典ガバナー、高橋秀樹ガバナーエレクトよりご挨拶を賜り、そして中町米山記念奨学委員長よりご挨拶いただいて、セミナーに入りました。

まず最初に、現在第 2560 地区の米山奨学生の扎蘇那(チャスナ)さん(中国・新潟西 RC・新潟大学博士 2 年)より、『米山記念奨学生としての学びと感想』をテーマに、支援していただいている方への感謝の気持ちと、交流を通じて多様な民族性に触れあい、奨学生同士のネットワークを更に広げて、将来に生かしたいという思いを語って頂きました。

続いて、第 2560 地区米山学友のネィ・ヌエイ、ニャエイン・トゥさん(ミャンマー・村上 RC・事業創造大学院大学卒)より、「日本に家族がいるみたい。」と感じるほどに温かく迎えてくれたカウンセラーへの感謝・感激・感動と、日本で就職し学友会に入ってから近況報告をして頂きました。

参加された各クラブの皆様も、奨学生、そして学友の話をお聞き頂いて、奨学生の奨学会・世話クラブ・カウンセラーへの心からの感謝の気持ちと、これから母国と日本との交流の懸け橋になろうという心からの強くひたむきな思いを感じていただいたのではないのでしょうか。

そして休憩をはさんで、今回のご講演のために遠方よりお越しいただいた 2020-22 年度よねやま親善大使のウォータース・カレン・ジュリアさん(オーストラリア・京都南 RC・立命館大学卒・株 GlobalWaters 代表取締役社長)より『世界を繋げる学友会』というテーマで、ご自身の実体験に基づいた米山記念奨学会への感謝の気持ちと、奨学会と学友会の意義を心を込めて、お話し頂きました。米山記念奨学事業の PR と理解を深める活動に人生を賭けるといっても過言でないほどの大使の情熱に深く感銘するとともに奨学会で支援したことが、

ここで大きな花となって咲いたのだという米山奨学事業の意義を再認識しました。

その後委員会より、今年1月15日に行われた奨学生選考会の報告として、野澤修奨学生選考委員長より、選考方法の説明と今後の予定について発表頂きました。続いて、宮嶋正明寄付増進委員長より、米山奨学事業の発足の歴史と、奨学事業財団化での財団設立代表者の文部大臣あて宣誓文に触れ、米山奨学事業の原点に戻って、米山奨学事業への更なる、ご理解とご協力をお願い頂きました。

最後に、新保清久（公財）ロータリー米山記念奨学会理事・パストガバナーより、「関係あるすべての方の尽力に対する感謝の意と、国際理解・親善・平和を推進する日本独自の米山奨学事業に対して、変わらぬご支援をお願い頂いてセミナーを締めました。

今回のセミナーを通じ、改めて感じたのは「奨学会の成果は学友にあり」ということです。奨学生が、奨学期間での体験を通じて、ジュリアさんのような学友がたくさん育まれることが、この事業発足の「原点」ではないでしょうか。当委員会としても奨学会から学友会へのパイプの強化と、更なる学友会の活性化に努めてまいります。今後とも会員の皆様の米山奨学事業に対するご支援、ご協力を宜しくお願い致します。





## クラブ近況報告

新発田中央ロータリークラブ  
会長 齋藤 正行

新発田中央ロータリークラブの今年度の今までの活動としましては、当初 7、8 月は、30 ～ 45 分間の昼食持ち帰りの短縮例会ながら例会場にて顔を合わせて実施していましたが、その後は、ZOOM による短縮例会に移行し、10、11 月の COVID-19 一時沈静時には、会場にて食事を取りながらの例会も行えたのですが、12 月から 2 月の現在、再び ZOOM 例会となっております。

前年度会長幹事からの巧みな ZOOM 例会システム立ち上げ及び運営をそのまま引き継いで、現幹事にはご苦労をお掛けしていますが、ZOOM 例会に関して、当クラブは、会員の皆様にはスムーズに対応して戴いていると感じております。ZOOM 例会の出席率は比較的高く、メイクアップも例会記録の閲覧、感想コメントの報告という比較的容易なやり方により実施率が上がっております。しかし、当クラブで重きをおいている会員親睦のための集まりが 11 月の夜間例会 1 回だけということで、新入会員の方々の歓迎会、残念ながら退会された会員の方々のお別れ会等を催すこともできない状況でした。

そうした中で、8 月 19 日にフードバンクしばた様にロータリー財団地区補助金を活用した米の支援を致しまして、その贈呈式を行いました。以前よりフードバンクしばた様には、数年前から単発で何度か支援してきた経緯があり、その度にお礼の卓話ということで事務局長様よりフードバンクと地域の現状をお話いただいております。

また、今回の支援の主導をお願いした今年度社会奉仕委員長が以前に個人でフードバンク様に支援を行った際にも、COVID-19 禍でますます深刻な実情をお聞きしてきて、この度は、是非、支援規模を拡大して地区補助金事業にしたいとお話があったため実施したものです。

支援終了後のフードバンク事務局長様よりの卓話も予定しておりますが、半年たった今も通常の例会が開催できず、実現できていません。

早くこの難局が沈静化して、延び延びとなっている毎年恒例の友好クラブの安中ロータリークラブ様とのこちらから出向いての交流会、昨年は、断腸の思いで中止した新発田市内及び近郊の小学生サッカークラブチーム対抗の当クラブ協賛「中央ロータリークラブ杯サッカー大会」、新発田中央高校インターアクトクラブと一緒に活動する予定のロータリー奉仕 Day が円滑に実施できるよう準備を怠らないようにしていきたいと思っております。





## コロナ禍でのクラブ活動

新潟東ロータリークラブ  
会長 水本 直弥

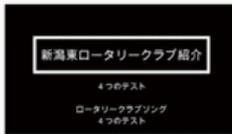
新潟東ロータリークラブは、男性会員54名、女性会員8名、計62名で7月よりスタートしました。7月、8月、10月は、例会を隔週2回で弁当お持ち帰りとし、9月、11月、12月は、通常通りとし、又、1月、2月は、オミクロン株の感染拡大とまん延防止等重点措置が発令された事により、理事会開催日（弁当お持ち帰り）以外は、休会と致しました。

第2分区の「IM」実行委員会は5回開催し、再延期を決定し、6月26日に開催する事になり、又、第2分区の7ロータリー合同例会は、会長・幹事会にて中止を決定しました。12月は年次総会を開催し、次年度の役員・理事が選ばれ、次年度の体制が整い、ほっとしたところです。

今期も、コロナ感染症により事業の延期や中止がなされ、ロータリー活動も縮小されて8か月も経ってしまいました。新潟東ロータリークラブにおいては、新会員を勧誘する為のクラブ紹介用のYouTube動画を作成し、新会員増強に取り組んでおります。4月に職業奉仕委員会では、職場見学ツアーを計画しております。又、ロータリー奉仕デーで水辺の清掃等を企画していますが、まだ未定になっております。

コロナ禍での活動は確実性がなく、企画しても中止や延期に追い込まれかねず、不安定でやりがいを感じ得ない。早くコロナの終息を願い、又、コロナの感染状況に注視しながらロータリー活動を行っていききたいと思います。

新潟東ロータリークラブ 紹介 YouTube



新潟東ロータリークラブ 紹介 V  
OL. 1  
ロータリークラブの目的

4つのポイント  
ロータリークラブフック  
4つのポイント





新潟東ロータリークラブ 紹介 V  
OL. 2  
ロータリークラブの基本 例会





新潟東ロータリークラブ 紹介 V  
OL. 3  
ロータリークラブの様々な活動  
米山奨学生 米山記念奨  
学会





新潟東ロータリークラブ 紹介 V  
OL. 4  
ロータリークラブの様々な活動  
野球同好会の活動





## クラブの近況報告

新津ロータリークラブ  
会長 三澤 明

今年度の例会運営は、食事をお弁当の持ち帰りとし、時間短縮例会を実施して参りました。昨年末頃には COVID-19 の第 5 波が一旦収束を迎えたことにより、ようやく通常の食事形式にての例会を再開いたしました。しかしながら、新年を迎えるや早々にオミクロン株の第 6 波が一気に押し寄せ、新潟県初の「まん延防止等重点措置」が適用になった事を受け、2 月は全例会を休会とし、例会の再開については今後の状況を見ながらの判断となっている状況です。

上半期の活動につきましては、地元の新潟市秋葉区にて毎年秋に開催されている「あき花火まつり」への協賛を実施し、地域の活性化に寄与いたしました。また、今年度、高尾ガバナーの重点項目の一つである「ロータリー活動の認知度を向上する」に鑑み、地元のコミュニティ FM 局「FM にいつ」のラジオ番組に 8 月、9 月の 2 回、2 番組にゲスト出演し、ロータリーの社会奉仕活動、奉仕の精神などをご紹介し、ご興味のあるリスナーさんは一度例会を見学にお越し下さいと呼び掛けました。

また、今年度から「クラブ戦略計画実行委員会」を設置し、当クラブの「クラブ戦略計画」を早期に立案、実施すべく、会員全員へのアンケート調査を行う等、鋭意準備を進めております。

そして、当クラブ主催の第 3 分区 IM 開催にあたりましては、実行委員会で様々な議論を重ね、従来の対面式での全員参加型開催は現状では難しいとの判断から、それならば如何にして多くの会員の皆様に参加して頂ける IM が実現できるかを模索し、そして全員参加型の誌上開催の実施へと辿り着きました。分区内の全会員より「一言メッセージ」を頂戴し、それらを一冊の冊子にまとめ製本し、配布することで IM の開催に代えるという、新しい開催方式です。現在は編集の最終段階に向けての準備中で、今春 4 月頃には第 3 分区の皆様のお手元へお届けできると思います。

その頃には COVID-19 の感染拡大も収束し、いつも通りの例会を開催しながら、親睦を図れる、そんなロータリー運営の実現を祈りつつ、近況報告とさせていただきます。



## クラブ近況報告

三条北ロータリークラブ  
会長 石川一昭

「今こそ見せようロータリーの底力(ちから)を」のテーマで、昨年2021年7月1日にスタート致しました私の年度も、残すところ半年となりました。スタート時は東京オリンピックが間近に迫ってきたところでしたが、コロナ感染は一向に収まる気配がなく、各テレビ局は、連日、感染者の人数を競って報道しておりました。果たしてオリンピックは開催されるのかと思っておりましたが、何とか開催され少しは安堵致しました。

そのような中、クラブの例会は感染対策をしっかりと行いつつ、お弁当持ち帰り、時短例会、例会時のテーブルを学校形式にしたり、毎週が別な面でコロナとの戦いでもありました。そのせいか、クラブからは誰一人感染者は出ておりません！しかし、今我々に出来る事は何かを考えた結果、先ずはコロナ禍で売り上げが極度に落ち込んで影響を受けている会員に少しでも協力出来ないかと考えました。会費を免除しようという事で、6名の会員の年会費を免除致しました。これもロータリアン同士、困ったときは助け合いの精神のもと、例会では全員一致で賛成を得て即実行、免除された会員からは「ありがとう！」、「助かった！」の言葉が帰って来て、やって良かったと思えました。

また、今年度社会奉仕活動では、「あしながサンタ X'mas プロジェクト 2021」でフードバンク新潟へクリスマスケーキ 500個分の 108万円を寄贈致しました。4000個の中の僅か 500個でしたが、我々の善意が各家庭に届いたと思うと感慨ひとしおです。当日の様子は県内の TV ニュースで放映され、各方面からニュース見たよと言われました。ロータリークラブは社会に貢献はしているが宣伝が今一、他の奉仕団体より下手だと良く言われますが、少しはロータリーの活動をロータリアン以外の皆様に告知出来たのではと自負致します。

今年に入ってから新種のおミクロン株という感染力が強いコロナが猛威を振るっており、弱まる気配が見えてきません。そうした中、第3回ワクチン接種が始まりました。早くワクチンの効果が出て来てコロナ前の生活に戻れますよう、切に願うばかりです。





## ロータリー活動近況報告

吉田ロータリークラブ  
会長 井上 重孝

COVID-19 感染拡大は、昨年 11 月～今年 1 月頃まで落ち着いてきたかに見えました。でもいつか、第 6 波が来るものと考えておりましたが、やはり残念ながら第 6 波が来てしまいました。

しかし、当クラブでは、沈静化傾向が見えた昨年 11 月、規模を縮小し、高尾ガバナー様、広川筆頭副幹事様、外山第 4 分区ガバナー補佐様をお迎えし、公式訪問を無事終えることが出来ました。しかも、十分な COVID-19 感染対策をしながら、外山第 4 分区ガバナー補佐様のご出席を賜り、ガバナー歓迎晩餐会を開催させて頂き、好意と友情を深めた和やかな歓迎晩餐会を過ごすことが出来ました。

また、11 月、12 月の COVID-19 感染拡大が比較的落ち着いている時期に、今まで中止にしてきました夜例会を行い、会員増強で新たな仲間になって頂きました 7 名の新会員の皆さんと、ロータリーの会員相互の交流の楽しさ、ロータリー活動を知ってもらい、これからの地域と連携した活動を充実させ、ロータリー活動の認知度を高める場として、大切な夜例会だったと思います。

他に主なロータリー活動として、

- ① 第 21 回を迎えた吉田ロータリークラブ杯争奪少年野球大会を開催しました。今年度も、ロータリー財団の地区補助金を活用し、大会を盛り上げることができました。
- ② 燕市吉田地区保育園に“はきものをそろえる”「お靴のベッド」を、各保育園へ希望枚数を寄贈します。
- ③ 燕市主催 第 10 回クリーンアップ選手権大会へ 2 チームを作り参加予定でしたが、中止になりました。
- ④ 毎年、燕市長様をお迎えし、ご講話を賜り、燕市の現況をお聞きしています。
- ⑤ 年 2 回早朝例会がありますが、その 1 回は、会員でもありますご住職様のご好意により、早朝坐禅例会として、坐禅修行入門の経験(まねごと)をさせていただきました。
- ⑥ 燕市吉田福祉会へ「車イス」の寄贈を予定しています。

COVID-19 禍でなければ、地区大会、地区協議会、4 クラブ合同観桜会、燕市内 3 クラブ合同例会など、本来の会員同士の交流が行われ、理解と友情を深めることができるのですが、今は大変残念でなりません。

ただただ、一日も早く COVID-19 感染の収束を願うばかりです。





## 7月からのクラブ運営について

柏崎中央ロータリークラブ  
会長 木村 あゆみ

柏崎中央ロータリークラブは、在籍3年未満の会員が複数名おります。その会員のほとんどが、COVID-19禍でリモート例会しか経験できておりませんでした。

7月から新年度になり、柏崎刈羽地区での感染者数も落ち着いていたので、感染対策を万全にして当クラブ会員の割烹を例会場にして通常例会を開催することを決め、上期はほとんどの例会が無事に開催されてきました。

先に述べましたように、ここ近年に入会した会員たちは相互の交流もままならず、お互いのこともよく知らずといった日々でしたので、7月からの通常例会では、月に1度会員紹介の卓話をプログラムに組みました。

また、新入会員オリエンテーションも行い、ロータリークラブの事を学ぶとともに、チャーターメンバーに今まで行ってきた活動や入会して良かったことなどを話してもらい、より広くロータリークラブの事を理解してもらえたと思います。

また、当クラブの恒例事業、社会奉仕委員会主催の「柏崎中央ロータリークラブ旗争奪新人学童野球大会」と、国際奉仕委員会主催の「留学生懸賞文コンクール」も上期のうちは無事開催し、地元新聞にも大きく取り上げて頂きました。

1月からは残念ながら、またZOOM例会になってしまいましたが、1日も早く顔を合わせて通常例会ができる事を願っております。





## 近況報告

越後魚沼ロータリークラブ  
会長 坂田 明

未だにオミクロン株が猛威を振るっており、厳しい活動制限のため例年の事業ができない状況です。

しかしながら、当クラブでは、例会は時短を取り入れながら昼・夜と休会することなく行っています。内容は、現在外部からの卓話者をお呼びできないので、メンバーより話題提供をしていただき、語り合い、情報交換と勉強の場となっており、少人数クラブならではの例会が継続できています。

例年開催している「シャンソンの夕べ」での社会奉仕活動は、やむなく現在延期としています。一方で、開催方法を工夫し、実施を続けている青少年奉仕（留学希望者も含む）もあります。NPO 法人魚沼交流ネットワーク（小出郷文化会館指定管理者）が事務局の RM 実行委員会と当クラブが地域での他団体への支援・協力事業として共催している「ルドルフ・マイスター教授によるピアノ音楽合宿」です。例年であれば教授にドイツから当地へおいでいただき、国内外の若手ピアニストを集め、合宿方式で育成を行っていました。教授の渡航困難な現在、ド



オンラインレッスンの様子

イツの教授と日本各地の受講生をオンラインでつなぎ、継続的にレッスンを展開しています。新しい動きとして、日本はもとより、タイやイタリアからも聴講生としてオンラインに参加し、参加者は延べで 180 人を超えています。今まで交流のなかった人たちのネットワークが構築されていると感じています。

まだまだ先の見えない日常で、つい楽をしがちではありますが、我がクラブはメンバーとともに、少数クラブの特色を活かして、今できることをワクワク楽しんでいきます。「楽しく固い結びつき」で。

ルドルフ・マイスター教授  
によるピアノ音楽合宿ホーム  
ページ QR





## 創立 60 周年記念事業で ちびっこテーブルベンチを寄贈

小千谷ロータリークラブ  
会長 廣井 充

今年、小千谷ロータリークラブは 60 周年を迎えます。私の生まれる前から存在していた歴史あるクラブです。

その記念事業として、小千谷市にちびっこベンチを寄贈しました。

設置場所は、7 月に完成した防災公園です。この公園は、17 年前の中越地震の際に、避難場所として仮設住宅がたくさん造られた場所です。それを踏まえ小千谷市が、災害時に避難ができ、一時的に生活ができるように造った防災公園です。災害時にはヘリコプターが着陸できるように発着場所が用意されています。そして、平常時は子ども連れの家族が遊びにくる公園です。他にもブランコや滑り台などがある普通の公園ですが、このテーブルベンチを利用してもらい、子どもたちや家族の親睦が深まり、ロータリー活動に関心を持ってもらえれば幸いです。そして、いつか子どもたちが大人になり、ロータリークラブに入会することに期待したいです。

コロナウイルス・オミクロン株の急拡大により、1 月の途中からクラブは休会していますが、再開した際には親睦活動と会員増強に重点をおき、残りの会長職を全うする所存でございます。





## クラブ近況報告

高田東ロータリークラブ  
会長 三原田 貞雄

今年度も COVID-19 に強く影響されたクラブ運営でスタートしました。新年度早々に、残念ながら奉仕活動が2件中止となりました。しかし、8月初旬の高尾ガバナー公式訪問に関しては、高尾ガバナー、第7分区の風間ガバナー補佐、浅妻地区幹事のご理解とご協力により、無事終了することができました。

東京オリンピック・パラリンピック開催期間中も、COVID-19 の影響は衰えることはなく、例会運営には引き続き慎重にならざるを得ませんでした。幹事・理事の皆さんと綿密に協議を行い、例会場のウイルス感染防止対策や食事方法の工夫を徹底し、6都府県を対象に発令された緊急事態宣言下においてもロータリー活動を止めないよう尽力しました。

2021年9月後半に緊急事態宣言が解除された時には、ロータリー活動をより活発化できるチャンスと捉え、感染防止対策を徹底し、会員有志でのゴルフコンペや夜例会も再開いたしました。COVID-19 感染拡大の前では当たり前だった会員同士の交流の素晴らしさを改めて実感いたしました。

しかし、そのような時間は3ヶ月ほどしかなく、年末から年明けにかけては、再びCOVID-19 が強く影響したクラブ運営となっております。大変残念な気持ちです。新年初例会時も、COVID-19 感染者の急激な増加に伴い計画の変更を余儀なくされ、時短の中で飲食なしの食事持帰りという、寂しい年明けスタートとなりました。

今後も地区大会・奉仕デーなどたくさんのイベントが予定されており、当クラブ会員一同、楽しみにしております。COVID-19 の中でも、素晴らしいロータリー活動を継承・発展させるためにも、今後も当クラブの会員と協議しながら、クラブ運営を行います。

第2560地区 2021-22年度1月末 会員数および出席報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	1月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	-	372	379	33	7
新発田	0	28.0%	93	93	0	0
村上	2	17.9%	38	39	9	1
水原	3	21.9%	32	32	1	0
中条	2	90.9%	41	44	3	3
新発田城南	3	20.5%	40	39	3	-1
豊栄	2	12.5%	20	24	2	4
新発田中央	3	4.4%	44	45	4	1
中条胎内	2	52.8%	36	36	6	0
村上岩船	0	25.9%	28	27	5	-1
第2分区(9クラブ)	／	-	433	450	25	17
新潟	4	22.7%	82	88	2	6
新潟東	1	16.4%	62	67	8	5
新潟南	3	32.4%	105	108	3	3
佐渡	3	100.0%	6	5	0	-1
新潟西	3	50.0%	39	40	2	1
佐渡南	1	12.2%	40	41	4	1
新潟北	2	28.9%	37	38	0	1
新潟中央	2	38.1%	21	21	0	0
新潟万代	3	52.4%	41	42	6	1
第3分区(6クラブ)	／	-	97	100	5	3
新津	3	11.8%	17	17	1	0
村松	3	63.6%	12	11	0	-1
五泉	3	0.0%	11	11	1	0
白根	4	30.0%	29	31	1	2
新津中央	3	29.2%	22	24	2	2
阿賀野川ライン	2	0.0%	6	6	0	0
第4分区(11クラブ)	／	-	366	363	28	-3
三条	2	12.3%	56	57	0	1
燕	4	6.3%	34	33	3	-1
加茂	2	8.6%	33	35	6	2
三条南	1	15.4%	44	39	2	-5
分水	2	79.3%	29	29	4	0
見附	3	4.8%	21	21	1	0
吉田	2	6.7%	28	30	3	2
三条北	3	5.4%	58	56	2	-2
巻	1	0.0%	25	24	3	-1
田上あじさい	4	14.3%	7	6	1	-1
三条東	3	6.1%	31	33	3	2

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	1月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	-	296	299	24	3
長岡	3	80.0%	45	45	3	0
柏崎	2	2.4%	41	41	0	0
長岡東	3	27.8%	52	54	3	2
柏崎東	1	17.4%	45	46	3	1
栃尾	1	12.0%	25	25	0	0
長岡西	3	20.4%	50	49	3	-1
柏崎中央	3	23.1%	38	39	12	1
第6分区(6クラブ)	／	-	122	125	10	3
十日町	2	28.1%	32	32	4	0
小千谷	2	10.3%	30	29	3	-1
雪国魚沼	3	20.8%	20	24	2	4
十日町北	2	0.0%	18	18	0	0
津南	3	18.8%	16	16	1	0
越後魚沼	2	16.7%	6	6	0	0
第7分区(7クラブ)	／	-	312	320	23	8
高田	2	31.5%	72	73	5	1
直江津	2	31.9%	69	69	6	0
新井妙高	3	11.1%	31	36	1	5
糸魚川	0	72.1%	41	43	3	2
高田東	3	66.7%	36	36	3	0
糸魚川中央	1	55.6%	28	27	0	-1
越後春日山	3	97.2%	35	36	5	1

クラブ数	55	クラブ
7月1日 会員数	1,998	人
1月末 会員数	2,036	人
女性会員数	148	人
純増減会員数	38	人
My Rotaryアカウント登録率	28.5	%

地区主要行事予定

2022年3月1日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2022年 (R4) 高尾年度	3月	水と衛生月間			
		5	(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルイタリア軒
		12	(土)	ローターアクト地区大会	デュオセレッソ
		19	(土)	第2分区IM(片山G補佐・新潟東) →6/26に延期	ANAクラウンプラザホテル
		26	(土)	高尾年度 クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS)	ホテルイタリア軒
		27	(日)	地区リーダー向け会議「ロータリーと危機管理」(RIJYEM)	
		26~27	(土~日)	ローターアクト全国研修会	神戸ファッションマート
	4月	母子の健康月間			
		2	(土)	米山カウンセラー研修会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		2	(土)	柏崎中央RC創立20周年記念式典・祝賀会 ※延期の可能性あり	市民プラザ・柏崎産業文化会館
		9	(土)	ロータリー財団奨学生選考会	万代シルバーホテル
		12	(火)	高尾年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会	フォレストカントリー倶楽部
		16	(土)	高尾年度 地区大会1日目/RI会長代理歓迎晩餐会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		17	(日)	高尾年度 地区大会2日目	ANAクラウンプラザホテル新潟
21~22	(木~金)	クラブ活性化セミナー2022	JPタワー		
23	(土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	ANAクラウンプラザホテル新潟		
24	(日)	全国インターアクト研修会	オンライン		

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
白根	小湊 文隆	2022.01.06	ハナコフューチャー株式会社	常務取締役	不動産業
加茂	谷地田 寛	2022.01.13	(株)ヤチダ	代表取締役	機械器具製造
長岡東	本田 浩	2022.01.19	(株)日本旅行長岡支店	支店長	旅行業
燕	今井 大輔	2022.01.27	(株)今井技巧	代表取締役社長	金属研磨・溶接業
高田	嶺村 武	2022.02.04	平安セレモニー(株)	執行役員調理事業部長	総合結婚式場
高田	加藤 公一	2022.02.04	(株)宇喜世	支配人	料亭
越後春日山	藤井 映規	2022.02.10	株式会社エコスタッフ	専務取締役	解体工事業



## 「Think-global Act-local」をテーマに、「ロータリー奉仕デー」の企画 / 2021年度

「ロータリーコーディネーター」の仕事は、会員基盤部門だけに限らず、「ロータリー活動そのものの活性化をコーディネートする仕事」と理解して、地区研修リーダーとして、地区・地区内クラブの運営や事業計画立案に関わる時は、「クラブ活性化(即ち会員増強)」は、「ロータリー財団補助金を積極的に使用する奉仕PJ」を実施して、そのPJを「ロータリー活動の広報とイメージアップ向上のために、PJ実施前後の対外広報活動の準備」を三位一体の基本として計画してきました。

然し乍ら、日本の会員として共通する問題でもあると思いますが、以前の「ロータリー財団6つの重点分野」では、自分たちの身近な問題として捉え難かったことは否めません。

そんな折に、「環境」が7つ目の重点目標に追加され、然もシェカール・メータRI会長は「ロータリー奉仕デー」の実施を呼びかけられたので、2700地区としては、2020年度から取り組んでいる「環境保全活動」と「ロータリー奉仕デー」をジョイントする事を、今年度の地区の奉仕デー方針「Think-global Act-local」とし、地区内61全クラブ参加の「ロータリー奉仕デー」を開催しました。他地区の参考にでもして頂ければ幸甚と思ひ紹介いたしました。

2700地区が2020年度より参加している「宗像国際環境会議」に、「2700地区ロータリークラブ」として参加し、当地区奉仕デーの事業を「宗像国際環境会議のField-work」とし、地区会員を対象とした「会員対象の環境保全研修会は福岡市内研修会場」と「地区内61の全クラブ」と「宗像国際環境会議会場」をオンラインの同時進行のハイブリットで実施し、しかも一部の講演等は「Facebook」で同時に世界発信し、「宗像国際環境会議」のページにて参加出来るようにしました。

1月のRI会長方針を受けてからの、地区内全クラブを対象とした急な対応となったので、2月からの準備を時系列に紹介します。

1. 地区研修委員会と社会奉仕委員会・ロータリー財団委員会にて詳細検討
2. 地区研修委員7名全員を地区内7グループの担当とし、7名のガバナー補佐を支援することとし、「ロータリー奉仕デー対策 ガバナー補佐会議」を数回開催。
3. PETSの全体会議にて「地区奉仕デーの概要説明と財団補助金等の適応説明」→「グループ別会議」→全体会議にて「各グループの行動予定」と「事前、事後の対外広報計画の説明」。
4. 地区研修・協議会にて、約800名の会員に「2700地区ロータリー奉仕デーの意義」を再度説明。
5. 地区内7グループの活動は未だ進行中のPJもあるので最終的な総括は出来ていませんが、6グループが終わった段階で、地区会員総数(約3200名)の倍以上の参加人数です。
6. このPJは、12月5日に東京で開催された「ロータリー財団地域セミナー」にて、「第3地域の事業例」として報告する栄誉も賜りました。

この事業は地区内会員や一般の方の多くの賛同と参加を得たので、2022年度は更にバージョンアップして、下記のような事業を計画し、既に準備が進んでいます。

「クラブ活性化」のために「会員基盤向上部門」「公共イメージ向上部門」と「ロータリー財団部門」の3部門合同の「クラブ活性化奉仕PJ」の企画 2022年度

### 1. 「クラブ活性化セミナーを今年6月に開催する」

担当委員会は 会員基盤向上部門・広報・公共イメージ向上部門・ロータリー財団部門の3部門とする。

### 2. 「オープン例会Week」の開催

会員基盤向上部門は、7月から8月にかけて、地区全61クラブを対象とした

1or2週間の「オープン例会Week」の開催を働きかける。

オープン例会の出席対象者は、1.会員候補者 2.会員事業所の社員 3.会員家族 4.マスコミ関係 5.等々で、出席者の食事代金は、地区負担する。

### 3. 「2700地区の取り組む環境保全」の映像を作成し、オープン例会時の全てのクラブの卓話時間に使用する。

映像は、「国際ロータリーの紹介・国際ロータリーの環境保全活動・2700地区の環境保全活動」の内容の30分映像を、地区研修委員会が作成する



4. 「地区環境保全奉仕デー」は、2021年度を参考にして、地区社会奉仕委員会が主管で「宗像国際環境会議」とコラボして9月～11月の間に実施する。
5. 「オープン例会」と「地区環境保全デー」は、公共イメージ向上部門が事前・事後の対外広報を周到に準備する。
6. 「地区環境保全PJ」に関わる費用は、「ロータリー地区補助金」と「地区事業補助金」の対象となることをロータリー財団委員会は周知を図る。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫(宗像RC)

### 第3地域戦略計画セミナーについて

ロータリーを発展させるためには、ロータリーの「ビジョン声明」にあるように持続可能なよい変化を生むために、そしてロータリーが社会の変化に適応し、社会から必要とされる団体として認知されなければなりません。

また、ロータリーの戦略計画に3つの優先項目が決められ、「公共イメージと認知度の向上」、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」であることはご存知の通りです。

この3つの項目を連携することによって会員基盤向上につながるようになります。現在は4つの優先項目に変わり「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ための行動計画を推進することになっています。

第3地域では、ロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)の地域リーダーが共同で新年度が始まって早い時期(7月第一週か第二週の土曜日)に毎年交代で担当をつとめ「戦略計画推進セミナー」を開催しています。

このセミナーのプログラムは、各地区ガバナーによる地区方針の発表、前年度に実施された公共イメージ向上につながる奉仕活動をメディアで報道された様子を含め有効な参考事例として紹介することを中心に構成し、かつ各地区ガバナーの交流の場として運営しています。

しかし、RC、RRFC、RPICの活動の認知には至っておらず、地区の研修会などで発表する機会が少ないのが現状です。

RC、RRFC、RPICは3人の地域コーディネーターとそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非 お声がけください。

クラブの会員増強と活性化につながることのお手伝い出来るように準備をしています。

オミクロン型コロナ感染拡大によってまだまだ不透明な環境ではありますが、国・行政の指針を守り、しっかりと予防対策をすることによって「一日も早く、大切な人達と安心して会える日常に戻りますこと」を願っています。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 片山 勉(大阪東RC)



## 1. クラブ国際奉仕活動に学友会が協力

出雲中央RCとタイ米山学友会がタッグを組み、タイの病院へ医療器具を寄贈しました。

このプロジェクトは第2690地区（岡山県・島根県・鳥取県）と出雲中央RCによる地区世界社会奉仕プロジェクトの一つであり、同クラブがかつて世話をした元米山奨学生、ブサコーン・ホンヨックさんを通じて、タイ米山学友会へ協力を仰いだもの。同学友会はこの話を受け、寄贈先となる医療機関の選定や、現場で今必要とされている機器の把握、販売業者の情報などを調査し、出雲中央RCへ逐次報告。学友会から



の12,378パーツを足して、昨年12月にネーザルハイフロー（高流量で高濃度酸素を投与できる呼吸療法機器）1台を寄贈、ま

た、今年1月にはストレッチャーを1台ずつ2病院へ寄贈しました。現在、オミクロン株が急拡大しているため贈呈式には立ち会えなかったものの、「今回のご支援で、医療設備が充分ではない地域の病院を助けることができた。学友会として世話クラブのお手伝いできたことが何よりも嬉しく、懸け橋の役割を果たせた」と、ワシン・テイシャチャイニラン会長（東京清瀬RC）とブサコーンさんが語ってくれました。



寄贈したネーザルハイフロー（銘板には出雲中央RCとタイ米山学友会の名が刻まれている）

## 2. よねやま親善大使の活躍

2月5日、第2560地区米山奨学委員会が主催する「第2回米山委員長セミナー」が新潟市内で開かれ、よねやま親善大使のカレン・ジュリア・ウォーターズさん（1992-94/京都南RC）が同地区54クラブの米山奨学委員長に向けてスピーチをしました。今回はオミクロン株の感染拡大を受けてハイブリッド形式となり、会場に集まったガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミネーを含む約25人は全員抗原検査を受けてから入場するなど、厳戒態勢での開催となりました。久しぶりの活動と



なったカレンさんは米山奨学生時代の感謝から現在の仕事に込める思いなどを語り、聞きながら涙を浮かべる参加者もいました。

現在の第4代よねやま親善大使の3人は、就任時からコロナ禍に見舞われ、ほとんど活動ができていません。このため、任期を1年間延長し、2023年6月末までとすることが決定されました。感染が落ち着いたきましたら、ぜひよねやま親善大使をお招きください。



### Q 招へいの費用はどのくらい？

地区・分区・クラブ周年行事の場合、親善大使の旅費（交通費・宿泊費・基本の食費）は奨学会が負担します。地区大会登録料、晩餐会参加費などは、招へい側でのご負担をお願いします。

### Q クラブ卓話へ呼べますか？

できるだけ地区・分区行事への招へいをお願いしていますが、親善大使（大阪・東京在住）の旅費をクラブでご負担いただける場合、招へいが可能です。

### Q どこに申し込めばいい？

米山奨学会事務局広報担当までメールまたはお電話でご連絡ください。折り返し、招へい申請書をお送りします。その後、事務局が派遣できる親善大使を調整します。

### 3. 寄付金速報 — まん延防止の影響で減少か —

1 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.9%減（普通寄付金:3.3%減、特別寄付金:1.1%減）、約 2,000 万円の減少となりました。ご寄付をいただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。例年 1 月は、普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただ

く定期寄付）の下期分の納入が主となります。しかしながらオミクロン株の影響で休会中のクラブが増え、1 月の納入金額が減少したように思われます。まだ先が見えない状況ですが、引き続きご協力下さいますようよろしく願いいたします。

### 4. 鶴ヶ島 R C が初の奨学生スピーチコンテスト

1 月 30 日、第 2570 地区（埼玉県）鶴ヶ島 R C が「第 1 回米山記念奨学生スピーチコンテスト」を初開催し、同地区奨学生 6 人と学友 2 人、計 8 人が出場。「日本について思うこと」をテーマに、一人 4 分の持ち時間で、それぞれ日本への思いを発表しました。会長賞には、尚美学園大学芸術情報学部で学ぶ鄭晴さん（マレーシア／2020-22／行田さくら R C）が選ばれ、齊藤大祐会長から表彰状と記念品が手渡されました。



このイベントは鶴ヶ島 R C が「地区内の米山奨学生から異文化を学びたい」と企画したもの。出場者を募り、審査員の一人として参加した同地区米山記念奨学部門委員長の渡邊藤男氏は、

「普段、皆さんがクラブで聞く卓話とは異なり、より深く彼らの思いを知ることができた。思っていた以上に素晴らしく、感動をもらった。地区内の多くの会員にもぜひ聞いていただきたい」と、振り返って述べられました。

### 5. 高校生への国際理解授業

東京米山友愛 R C と東京米山ロータリー E クラブ 2750 が主催する、学友・奨学生と高校生との交流イベントが 1 月 22 日、都立小平高等学校で 2 年ぶりに開催されました。

この国際交流会は 2013 年度に東京米山友愛 R C が始めて以来、今年で 9 年目を迎えます。昨年はコロナで中止となりましたが、今年は感染対策を講じて 1 人が 1 クラスのみを担当、学友・奨学生が教壇に立つ授業スタイルへ変更し行われました。対象となったのは同校 2 学年の 7 クラス約 280 人。参加した米山学友・奨学生は 8 人。高校生たちにとってはコロナ感染拡大以降、初めて外部講師とふれ合う場とな

り、休み時間も惜しんで講師へ質問する姿が見られました。「言葉や文化だけでなく、生き方を教わった。国が違えば考え方も異なると思っていたが、実際に話を聞くと、近いものを感じた」と、ある高校生は感想を述べました。

企画した東京米山友愛 R C 会員の朴貞子さん（2006-08／岸和田 R C）は、「日本にいる奨学生・学友に多くのチャンスをあげたいし、ロータリーならではの体験をさせてあげたい。そ

してこの経験を各自母国に持ち帰って、広めてほしい」と、話しました。また、同クラブは 11 月 20 日にも、都立成瀬高等学校でオンライン交流授業を実施しています。



学友と一緒に K-POP グループのダンスを踊る高校生